

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス さんらいず		
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日	～	令和7年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)
○従業員評価実施期間	令和8年1月16日	～	令和8年2月10日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月23日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの発達に応じた支援を検討し、日々の活動に取り入れながら支援を行っている。	一人ひとりの行動(出来事等)を全職員で共有して、支援の方法などを検討している。また、利用している学校・保育所・相談支援事業所・関係機関と情報交換を行い、より良い支援方法について検討している。	さらにご家族、学校、相談支援事業所と、日々連絡を密に行いながら、連携して統一した支援が行えるようにしていく。
2	近隣の福祉施設との交流、公共施設の利用なども容易な環境となった。このため児童発達支援・放課後等デイサービス共に施設内だけの活動にとどまらず活動範囲を広げ、他の福祉施設との交流を楽しんだり、町の体育館で伸び伸びと活動したりすることができている。	町の体育館を借用して活動したり、近隣の幼稚園で行われているキッズクラブに参加したり、子どもセンターでの行事に参加したりと、交流の場を広げている。	近隣の施設で行われている行事等に積極的に参加して、地域との交流を深めるようにしていく。
3	利用者本人の体調や様子などをご家族とLINE等で情報共有を図っている。	事業所での様子などは、連絡帳や送迎の際に報告している。さらに、活動の様子をLINEで送り密な連携が図れるようにしている。	利用者の様子だけでなく、講演会や催し等の情報を発信するなど、より広範囲な情報を提供していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族間の交流の場が少なくない。	ミニ運動会(児童発達支援)、いちご祭り(児童発達支援、放課後等デイサービス)などの行事の時にご家族の交流を進めているが、ご家族が一同に会って話し合うような計画が困難な状況。	来年度は、保護者合同の行事などを計画している。少しでも保護者の方々が一堂に会わせる機会を探っていく。
2	ペアレント・トレーニングなどの研修などの取組が提供できていない。	事業所開所時にペアレント・トレーニングの講演会を実施したが、それ以降実施していない。	研修会の情報提供があった際、保護者が受講可能な研修を確認し、資料配布やさんらいずに掲示するなどして研修の提供に努力する。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス さんらいず
------	------------------

公表日 令和 8年 3月23日

利用児童数 19

回収数 12

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	4				利用者が多い時は、主に活動するA棟だけでなくB棟と2グループに分けて活動したり、他施設（公園、図書館等）を利用したりして活動場所のスペースを広げています。
	2 職員の配置数は適切だと思いますか。	10	1		1	安心して預けられます	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	1		1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	1			未回答 1	
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12					
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11				未回答 1	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	1		1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1		7		利用者さんにより児童クラブと併用されたり、他の放デイを併用されたり等、他の子どもさんと活動する機会があります。さんらいずとしては、いろいろな施設（交流館・体育館・図書館・福祉施設・お店）等へ出向いて交流を図っています。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	2	1	3	未回答 1	研修会の情報提供があった際、保護者受講可能な研修を確認してします。あまり多くはありませんが、受講可能な研修は資料配布やさんらいずに掲載致しますのでご賞下さい。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	12					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11				未回答 1	
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12						
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	3	1	5		可能でしたら、年1回程度での保護者参加型イベントもあってもよいかなあと思いました。（※保護者同士の交流） 預かっていただいているだけで、家族・兄弟支援になっていると思います	
	来年度秋に親子ぽっちゃん大会及び保護者会を実施したいと計画しております。少しでも多くの保護者の方々が一堂に会せる機会を探って参りますので、ご理解ご協力をよろしくお願い致します。						

19	11	1				子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。						
20	12					子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。						
21	12					定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。						
22	11	1				個人情報取扱いに十分に留意されていると思いますか。					重要文書類は、鍵付き書庫に保管し、その他文書の扱いについて留意するよう声がけしております。	
23	12					事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。						
24	12					事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。						
25	12					事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。						
26	11	1				事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。					契約の際に説明が不足でしたら申し訳ありません。事故があった際には、速やかな連絡説明をしております。	
27	11	1				子どもは安心感をもって通所していますか。					嫌がることなく通所しています	
28	11	1				子どもは通所を楽しみにしていますか。					さんらずに近づくにつれ、足をバタバタさせて、ニコニコしています	
29	12					事業所の支援に満足していますか。						
非常時等の対応												
満足度												

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	公表日	令和	8年	3月	23日
放課後等デイサービス さんらいず	公表日	令和	8年	3月	23日
	放課後等デイサービス さんらいず				
	チャエック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		A棟B棟屋外での活動を工夫している。また、体育館や図書館、交流センター、公園、近隣の施設等多くの活動場所を利用し、利用者の成長に合わせた支援をしている。 A,B棟に分かれたり、カーテン等で落ち着くスペースを確保したりしてきている。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		個別対応の子が増えているような状況もあり、1人でも職員がお休みになるとギリギリな状況が見られている。	可能な範囲で正職員を採用し、ゆとりを持って利用者の対応に当たれるようにしていく。
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	子どもたちにわかりやすいかは不明だが、使いやすいようにしている。少しずつバリアを減らしていると思う。 段差の場所にマット等でバリアフリー化を図っている。 ガラスのある扉を外し、危険の無いようにして必要な場所には、ロールカーテンを使用するようにしている。	今後も利用者の安全・安心が保てるように環境整備を行っている。
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			
6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		打合せで確認できていると思う。	
7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		年2回面談やその他の場で意向は聞いている。改善方向の努力をしていると思う。	
8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		情報共有の場はあるが、次につなげていないこともある。	打合せにて意見を出し合い業務改善につなげていく。
9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6	よくわからない 外部評価は、必要と感じているが予算的な面で評価を受けるまでに至っていない。	今後、経営状況を見ながら第三者評価を受け業務改善につなげていく。
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		以前より研修に参加する機会が増えてとても勉強になっている。	
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	契約時に保護者や関係者に聞き取り記入。	年度毎に、アセスメントを保護者と確認しながら支援を進めていく。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービス提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	地域連携の部分プラスされると良いと思う。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	勤務の関係上、支援終了後には厳しいため、次の日の打合せで確認している。 その日の振り返りは、次の日の打合せにて行い、共通理解しチームで支援を行っている。	打合せの中で、共通理解、情報共有を図っていく。

環境・体制整備

業務改善

適切な支援の提供

22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7				
23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7				
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7				
25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	なかなか現状難しいかな？		
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		担当制にしている。		
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7				
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7				
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7				
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2			
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2			
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	山元町内の児童クラブと交流してみたらどうか？または巨理の放デイとの交流。数名ずつ関わる機会を作る。		
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7				
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		興味のある保護者さんに情報提供している。可能な限り、家族が参加できる研修会の資料を配布したり、さんらいずに掲示するなどして研修の提供に努めている。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7				
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7				
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7				
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7				
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいたい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	7			来年度は、保護者合同の行事などを計画している。少しでも保護者の方々が一堂に会せる機会を探っていく。来年度秋に親子ぽっちゃん大会及び保護者会を実施したいと計画しております。少しでも多くの保護者の方々が一堂に会せる機会を探って参ります。父母会の設立はこれから検討。いちご狩りやミニ運動会の開催で保護者の参加と交流の機会を設けている。
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7				
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7				
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	1			
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7				
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	行事での招待は計画していないが、諸行事で近隣の事業者や施設を利用して近隣の方々と交流を図っている。いちご狩りの場を提供いただき、地域の方に事業運営の理解を頂いている。		今後も地域の方々と交流を深めるようにしていく。

関係機関や保護者との連携

保護者への説明等

非常時等の対応					
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		非常災害の発生に備えてLINEの安否確認の体制の整備
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	7			
49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	7			
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づき取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	2		虐待防止のため、職員にチェックリストを行ったり、事例検討などグループワークの事についても学んでいく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1		